



2013年10月 第378号

スズキ労連

第42回
定期大会
特集号

スズキ関連労働組合連合会
静岡県浜松市南区増楽町20
電話〈053〉447-3079
発行人 古川正明
編集人 渡部 豪

第42回定期大会開催

“確かな暮らしの明日”に向け、後半期がスタート!!

42回定期大会



スズキ労連 古川会長より執行部を代表して挨拶

スズキ労連は、9月15日(日)にSUN会館3F大ホールにて第42回定期大会を開催し、加盟労組・支部から代議員134名(男性、123名、女性11名)、傍聴者32名が参加しました。

今大会は昨年、第41回大会で決定した2年間の運動方針の中での中間大会にあたります。大会では前半1年間の活動を振り返るとともに、第42期予算案、顧問委嘱の件が審議され、いずれも満場一致で可決決定されました。

スローガンに掲げた「確かな暮らしの明日」に向け、後半1年間の活動がスタートしました。厳しい情勢下において労働組合としての社会的役割をより一層自覚した上で、活動を推進してまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

【参加者】

代議員定数142名
内出席代議員134名(男性123名、女性11名)
傍聴者32名(男性32名)
来賓5名 顧問3名 執行部30名 書記2名

【議 件】

- 1) 第42期予算(案)の件
- 2) 顧問委嘱の件

【報告承認事項】

- 1) 第41期活動経過報告
- 2) 第41期会計決算報告
- 3) 第41期会計監査報告

【各種委員】 ☆印は各委員長(敬称略)

- ◎資格審査委員:4名
☆平塚 訓孝<スズキ労連中執>
森田 昌樹<スズキ労組 大須賀支部>
馬淵 浩之<スズキ部品富山労組>
嶋津 吉宏<浜松パイプ労組>

◎議事運営委員:4名

- ☆野沢 卓志<スズキ労連中執>
倉田 泰好<平岡ボデー労組>
本間 晴樹<スズキ新潟販売労組>
昇 宏樹<スズキ販売労組>

◎議長団:2名

- 左:鈴木 章文<スズキ労組 磐田支部>
右:太田 泰生<スニック労組>



◎書記:2名

- 年代 清美 <スズキ部品富山労組>
飛田 知美 <スズキ労連>

来賓のごあいさつ

大会の来賓として、自動車総連の相原会長、連合静岡の吉岡会長、直嶋正行参議院議員、榛葉賀津也参議院議員、磯崎哲史参議院議員の5名にご臨席を賜りご祝辞を頂きました。

自動車総連の相原会長、連合静岡の吉岡会長のご挨拶では、参議院選挙の取り組み、役員派遣に対するお礼に加えて、今後、雇用法制をめぐる政策課題や、自動車関係諸税、特に軽自動車税の動向には自動車総連組織内議員や県内の推薦議員の活躍が重要となる旨のご挨拶をいただきました。

議員の方々からは、雇用法制をめぐる政策課題や自動車関係諸税の増税に歯止めをかけるべく、生活者・勤労者の視点で活動を進めていくとの力強いメッセージが示されました。



自動車総連 相原 康伸会長



連合静岡 吉岡 秀規会長



直嶋 まさゆき参議院議員



いそざき 哲史参議院議員



しんば 賀津也参議院議員

スズキ労連 古川会長の挨拶(要旨)



本日の大会は、昨年の大会にて確認しました2年間の活動方針の中間にあたります。この1年間の活動の検証をするとともに、現状認識と課題認識を新たにしながら、向こう1年間の運動をみんなで確認する大会です。率直な意見交換を通じて、心ひとつに実りある大会となりますように、よろしく願いたします。

政策制度の取り組みについて

まずは、本日もご来賓としてお越し頂いておりますが、いそぎ哲史さんへの取り組みです。本年7月実施の第23回参議院議員選挙において自動車総連の組織内参議院議員として見事な成績で当選を果たしました。私たちの代表として国政の場で政治諸課題にこれから取り組んでいただきますが、これまでの各組合の1年半に及ぶ活動、支援に関しましては言い尽くせないほどの感謝があります。本当にありがとうございました。

今回、スズキ労連として初めて本格的に取り組みました全国での投票済証の回収活動においては、これだけの活動を人の為にできるか、私自身、自問自答することもしばしばあるほど皆さんに一生懸命活動していただきました。組合員の為に自動車の代表が国会議員としてなぜ必要なのかを訴え活動してきましたが、最先端で活動された組合役員の皆様に職場からはかなり厳しい声も投げかけられたことは存じ上げております。

組合員の事を思い活動しているにもかかわらずその組合員からの疑問や質問は本当に厳しかったと思います。しかし、271,553票という自動車総連として過去最高の得票が得られたのは、全国各地でご尽力頂いたみなさんのおかげだと思っております。

私たちの代表としていそぎ哲史さんを国政の場に送り出したことは終わりではなく、活動のスタートを意味しています。今年の自動車関連税制の

取り組みや、私たち働く者に関わる法改正など様々な課題に対し、スズキ労連としても、議員との連携を強め、今後も政策制度改善に向けて協議や勉強会等の取り組みを進めてまいります。

海外連帯について

スズキは、直近の海外モーターショーにiV4やS-CROSSなどの新商品を発表していますが、全て海外生産となっています。スズキグループ連結の国内海外売り上げが逆転した今、国内だけの組合活動だけでは解決できない課題が海外で発生するとともに、海外の問題は日本にも影響が大きくなっています。私たちスズキ労連の国際活動にも大きな転換期が来たと思っています。海外調査団の活動補強も必要ですが、海外の労働団体との情報交換を通じて連携を図れるよう活動を前進させたいと考えます。

労連の活動について

労連には労連内で働く人の格差を防ぎ、グループ全体で健全な発展をめざしていく役割があります。全国で最低賃金が10円以上引きあがっている現状を踏まえ、これから連合をはじめとした上部団体では2014年の春の取り組みの議論が始まります。賃金引上げについても加盟組合と議論を重ねながら方針を検討していきます。

第41期に新たな活動として女性委員会や昨日行われたトップセミナーをスタートさせましたが、より加盟組合の役に立つものとなるよう進化させていく必要があります。

加えて、スズキ労連の連帯強化のための「みんなの写真コンテスト」やその他の文体活動の充実、連合の目指す1000万組織化の活動としてスズキグループで労働組合のない部品製造会社や非製造会社、販売会社の仲間を増やす活動など既存の活動の着実な推進も図っていかねばなりません。

現在の活動を進める中、スズキ労連は、全国に組合員を持つ組織として、人づくりの教育活動や加盟組合へのオルグ活動、販売部会、車体部品部会の活動を充実させ、加盟組合との連携強化を重点とした、全国を結ぶネットワークの要として、地域における連帯と責任を果たしていきたいと思っております。

共にがんばりましょう！

議件・報告承認事項

<議 件>

1)第42期予算(案)の件

質疑なし

挙手にて承認(満場一致)



提案者の堀副事務局長



承認の挙手をする代議員

2)顧問委嘱の件

拍手にて承認

- スズキ労連 特別顧問
加藤 幸博 静岡県労働金庫理事長
- スズキ労連 政治顧問
田口 章 静岡県議会議員
徳光 卓也 浜松市議会議員



提案者の秋場副会長



加藤特別顧問



田口 章 静岡県議会議員



徳光 卓也 浜松市議会議員

<報告承認事項>

1)第41期活動経過報告

拍手にて承認

<質疑>

Q1. 政治活動について、職場の皆に負担をかけた。次の選挙につなげるためにも良かったこと、課題の整理をしっかりと行い、自動車総連にも伝えて頂きたい。



質問者 スズキ労組 倉知代議員

A. 組織強化活動へのご協力ありがとうございました。現在労連としても加盟組合に総括の依頼をしています。その内容をスズキ労連として確認した上で、自動車総連にも報告し、次の活動に活かしていきたいと思えます。



執行部答弁 小杉事務局長

Q2. スズキ労組では職場委員も含め、年々女性役員が増えている。この1年の女性役員を増やす活動の成果、報告を頂きたい。



質問者 スズキ労組 金子代議員

A. スズキ労連としては、昨年各組合の女性委員を選出頂き、上部団体の会議体やスズキ労連の研修会など組合活動への参加の機会を増やしています。各組合にも女性の職場委員を増やすよう声掛けを行っていますので、継続して声かけをしていきます。

Q3.「みんなの写真コンテスト」は全国から多くの組合員が応募できる良い文化活動だと思うが、出品数が6組合、34作品と少ない。全組合が参加するように告知方法の工夫や募集の中間状況などを伝えて頂ければ、私たちもさらに協力できると思う。

A. 活動推進への前向きなご意見ありがとうございます。今後さらに応募数が増えるように活動を進めて行きます。



質問者 スズキ労組 西條代議員

2)第41期会計決算報告

拍手にて承認

<質疑>

質問者:西條代議員

Q1. 雑費に役員サポート共済とあるが、労働災害とかを補填する制度の保険であるのか？ また、対象者は代議員などの参加者まで保障をするのか？

A. 会議体、研修に参加する労連役員を対象に、活動中に起こった事故(死亡含む)に対して入院、手術、通院の各給付金を保障する共済になります。

3)第41期会計監査報告

拍手にて承認

質疑なし



眞子会計監査人(スズキ部品製造労組・スズキ精密支部)

すべての議件・報告が承認され、最後は全員のガンバロウ三唱で締めくくりました。



がんばろう三唱を行った驚塚中執



2013年スズキ労連労使会議 開催



スズキ(株) 田村 実 代表取締役副社長



スズキ(株) 相澤 直樹 取締役専務役員

《2013年 労連労使会議》

- ◇日時:2013年8月23日(金)
- ◇場所:グランドホテル浜松4F スズキゲストハウス
- ◇出席者:組合側28名 会社側18名
- ◇内容
 - 1) スズキ労連 古川会長挨拶
 - 2) スズキ(株) 内田常務役員挨拶
 - 3) 出席者紹介
 - 4) スズキ労連の活動紹介 小杉事務局長
 - 5) スズキ(株)講演
 - ①今後の国内生産と海外生産について
スズキ(株) 相澤 直樹 取締役専務役員
 - ②国内市場と今後の国内販売戦略について
スズキ(株) 田村 実 代表取締役副社長
 - 6) 質疑応答
 - ①震災に備えた移転計画等の進捗状況について
 - ②女性ユーザー目線での店舗計画について

スズキ労連は毎年、加盟組合労使による「スズキ労連労使会議」を開催しています。労使会議では労使の信頼関係をさらに深めるとともにスズキグループとしての方針、労使での課題認識の共有化、労働条件向上、会社の業績向上について意見交換を行なっています。

第41期は8月23日(金)、スズキゲストハウスにて労使双方で46名が参加のもと労使会議を開催しました。会議は、スズキグループの国内市場の動向や、今後の国内外の生産状況、地震・津波に対するグループ会社の安全対策、国内市場への新商品の展開状況など、経営施策から働き方まで多岐に亘るテーマについて意見交換しました。

また、スズキ(株)の生産本部、国内営業本部から現在の取り巻く環境やグループの業績、現状の打開に向けた今後の取り組みについてのご講演をいただき、スズキグループが置かれている厳しい現状と課題について労使での認識を共有化するとともに、今後ますます厳しさが増していく国内外での競争に生き残るため、今まで以上に労使の一体感を強め、信頼関係を深めていくことの必要性について再確認しました。

スズキ労連 トップセミナーを初開催



105名の各組合トップが出席



j-union(株) 西尾 力 代表取締役会長

《内容》

- ◇日時:2013年9月14日(土)
- ◇場所:TKP浜松アクトタワーカンファレンスセンター
- ◇出席者:加盟組合三役+支部執行委員長・支部長
- ◇内容
 - 1) 開会挨拶 スズキ労連 古川会長
 - 2) さらなる連携に向けて
スズキ労連 小杉事務局長
 - 3) 講演:「今日の労働組合をめぐる社会的課題」
j-union(株)代表取締役会長 西尾 力様
 - 4) 質疑応答
 - 5) セミナー総括 スズキ労連 根木会長代行

9月14日(土)にスズキ労連 加盟14組合の三役、支部執行委員長・支部長を対象とした「トップセミナー」を初開催しました。冒頭、古川会長から「加盟組合のトップの意識を合わせるべく、変革の時期にある組合活動を推進して頂くために講師にj-unionの西尾会長をお招きし開催することとした」、「全国組織となった中で加盟組合間のコミュニケーションの場として設定した」とセミナー開催の目的について説明を頂きました。

その後、小杉事務局長から「このセミナー内容を三役だけのものにするのではなく、各組合で共有を図り、それぞれの活動に活かし、労連と加盟組合が情報交換をすることでさらなる連携を図りたい」と今後の連携強化に向けた話をしました。

j-union(株)の西尾会長の講演では、「組合活動が高度経済成長期からグローバル経済に移行した社会的な変化により、労働組合に求められる役割が変化してきている現状をしっかりと認識した上で、様々な組合活動を進めていく必要がある」、「現実を見つめた上で、労働組合としてできることを実施しながら問題解決を図っていくことが求められている」、「各組合のリーダーたちは行動を起こすことができる立場にあるので、職場でできることからはじめて欲しい」と結びました。

根木会長代行のセミナー総括では「組織強化活動」を選挙のためだけでなく、職場としっかり対話をし、コミュニケーションを良くする活動として本当の意味での組織強化活動を進めて頂きたい」と締めくくりました。

今回、初開催となりましたが、今後加盟組合の意見を踏まえながら、さらに各組合の活動に役立つ内容へと進化をさせていきたいと思えます。

女性研修会を初開催

8月2日(金)14:00~8月3日(土)12:00に掛けて第41期スズキ労連女性研修会をホテルクラウンパレス浜松にて開催しました。スズキ労連としては、今回「初」となる「女性研修会」(女性委員参加16名+中執参加15名)になります。

1月に開催をした女性委員会参加者から、「男性と組合活動について話をする場が少ない」という意見を頂き、今回は男性代表として労連中執メンバーに出席をして頂きました。

1日目は「スズキ湖西工場完成課の工場見学」を行い、2日目は「基礎学習：労働組合についての基礎学習」「講演：女性がいきいきと働きつづけるためには」を行いました。

1日目の工場見学では半数以上の女性委員が、入社以来または初めて車体完成ラインを見学するとのことでした。見学を終えた委員からは「初めて車の組立ラインを見て勉強になった」と意見を頂きました。中でも販売営業をされている委員からは「ラインで働いている組員を見て、今までとは違う視点で、お客様に販売が行える」という意見を頂き、研修会に見学を盛り込んだ成果を感じました。

2日目は座学を中心とし、小杉事務局長から「労働組合についての基礎学習 ～知っておかないと損をするお金の話～」、自動車総連より、労働条件局 富田局長をお招きし、「女性がいきいきと働きつづけるためには」の講演を頂きました。

富田局長には、自動車産業の女性組合役員の代表として、ご自身が出産し、育児をしながら働いた経験談やワークライフバランスの意味を説明頂くなど、体験談を踏まえたとご講演となりました。講演後、活発な質疑応答が行われました。

今回の研修会アンケート結果を踏まえながら、女性委員が組合活動の推進役となることをしっかりと理解してもらえよう委員会、研修会にできるよう取り組んでいきたいと思えます。



講演を頂いた自動車総連 富田局長



研修会の様子

2013年自動車総連 福祉カンパ 協力ありがとうございました!

毎年7月に展開させていただいている自動車総連福祉カンパ。今年も皆さまのご理解とご協力のもと、昨年を上回るカンパ金が集まり、最終集計でスズキ労連合計**5,212,896円**となり、自動車総連全体では153,414,533円となりました。

自動車総連・スズキ労連では、福祉社会の基盤は人間尊重と互助の精神に根ざした温かい思いやりの心と考え、労働組合の立場から福祉活動に積極的に取り組んでいます。

組合員の皆さまから頂いたカンパ金がどのように使われているのかをご紹介します。

福祉カンパ金の使途

①社会福祉施設・団体への車両および物品寄贈

1976年に全国85カ所の身体障がい者施設に車いす、電動タイプライター等、養護老人施設に電動リモコンベッド、ストレッチャー等、知的障害児施設にトランポリン等の物品を寄贈しスタートしました。1985年からは車両寄贈もスタート。昨年の福祉カンパ金から寄贈された車両は32施設32台、物品は59施設865点となりました。

②「ナイスハートふれあいのスポーツ広場」の開催

自動車総連結成20周年を機に福祉カンパ金より(財)国際障がい者記念ナイスハート基金に活動資金を拠出し、参加型福祉活動として各県地方協議会の運営のもと「ふれあいのスポーツ広場」を開催しています。「綱引き」「玉入れ」「大玉ころがし」などのスポーツを通じてハンディキャップを持った方々と組合役員・組合員がふれあいを深める中から「自立の心と思いやりの心を育むことを目的として実施しています。昨年は32地域で開催されました。

③その他福祉団体への支援

- (1)「PHD協会(Peace health & human development)への支援
- (2)「日本青年奉仕協会への支援」
- (3)「交通遺児等を支援する会(旧名称:交通遺児母の会)への支援

④連合・愛のカンパへの拠出

「人間の存在を脅かしている自由や平和の危機、人種に対する弾圧や飢餓で苦しんでいる世界の多くの人々に対する積極的な支援」を行うため、組合員一人当たり20円のカンパを拠出しています。

スズキ労連では10月より
下記4施設への車両寄贈を
予定しています。

施設名:共同作業所くだけ寮
(秋田県秋田市)

寄贈車両:エブリイ
推薦者:スズキ部品秋田
小玉 俊己 執行委員長

施設名:障害者福祉サービス事業所
アルス・ノヴァ
(静岡県浜松市)

寄贈車両:エブリイワゴン
推薦者:スズキ労連 政治顧問
徳光卓也 浜松市議会議員

施設名:社会福祉法人 希望の丘
広島どんぐり作業所
(広島県広島市)

寄贈車両:エブリイ
推薦者:スズキ販売労組 自販広島支部
土橋 達也 支部執行委員長

施設名:ワークセンター 愛の園
(沖縄県島尻郡)

寄贈車両:エブリイ
推薦者:スズキ販売労組 自販沖縄支部
山田 久剛 支部執行委員長



特定非営利活動法人 (NPO法人)

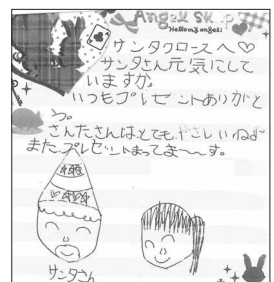
第10回チャリティーバザー

交通遺児等を支援する会

ご協力ありがとうございました!

「交通遺児等を支援する会」では、前身である交通遺児母の会の活動を継続し、交通遺児のおられるご家庭にクリスマスプレゼントの助成金を得るため「チャリティーバザー」を計画しています。

スズキ労連ではこの活動を支援するために、今年もバザー提供品の募集を行い、スズキ労連として329点ものご提供を頂きました。皆様のご協力に感謝申し上げます。



昨年届いた交通遺児等を支援する会から自動車総連宛てのお礼状の一部